

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成26年(2014)11月10日

No. 83

発行 高津啓洋

パラグアイ副大統領 レダでニームを植樹



会館で、会員をはじめ関係者から紹介された人たちが、70人参加しました。

高津啓洋代表は、地球温暖化問題の解決に、植林の重要性を語るとともに、森の防潮堤づくりの必要性を熱く語りました。基本は、どんぐり拾いから、今回の研修会のために拾われた、シラカシ、スダジイのどんぐりを育苗箱にまくことから始めました。

更に、高津代表が育てた、タブノキの苗木を、鉢上げして、ポット苗にしました。参加者全員が、ある程度成長した苗をポット苗にする方法を伝授されました。

どんぐりの苗作りは、どんぐりのばらまきから、実地での研修となりました。また、育てた苗から、鉢上げの仕方や、3年たったポット苗は、根がポット苗に充満するように張っていて、驚き感動するものでした。

10月27日、アファラ・パラグアイ副大統領がレダを訪問し、様々な事業を視察し、最後にニームの木を植樹して、アスンシオンへと出発しました。

どんぐり拾いから 苗木作りまで研修

11月9日、パンタナール研修会が開催されました。川崎市の大山



また、参加者にどんぐり拾いを奨励し、どんぐり週間のパンフレットを配りました。来年も皆様にお願ひしたいと思います。タブの種は毎年7月ごろに、ドングリは9月、10月ごろに拾うことができます。

2015年カレンダー配布中



2014.11/2(日)~11/16(日)

何のために?
なぜ私達は木を植えないといけないのでしょうか?それは私達が地球を壊して来たからです。その地球を再び一歩救う方法は「木を植えること」。昆虫・鳥・動物・魚・地域の人々・そして何より私達が住む家・子ども達も森が元気で暮らせるように一緒に木を植えませんか?自分たちが植えたどんぐりから育てていきたいと考えています。

拾ってほしいどんぐり
シラカシ カシノ
国産果物では、このツグリの木が、地震にも台風にも強い土着本来の「ふるさとの木」です。
※以外のどんぐりもOKです!

拾いポイント
虫に食われた穴が空いている、乾燥してヒビ割れているどんぐりは拾わないでね。
できるだけ拾った種類に分けてね。(透明ビニールが大好物!)
拾った後は、乾燥しないように濡れた新聞紙にくるむといいよ。
できるだけ幹が太い年をとった木から拾ってね。(樹齢が高くて良いNHAのドングリです)
できるだけ葉っぱの大きいどんぐりを持ってね。

自分で育ててみたい方は...
→育て方はセミナーで指導します!
→どんぐり育てがガイドブックを希望者に差し上げます!
→どんぐりを集めています!
あなたの拾ったドングリをおお喜びします。セミナー会場に持ってくるか、下記までご連絡ください。
【送り先】〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口3-11-15 岩崎ビル4F
【問い合わせ】NPO地球の緑を守る会
TEL:03-5717-9358
Mail:midorinokainpo@yahoo.co.jp

2015年度のカレンダーを配布しています。一部200円で、植樹のための支援もかねて、お願いしています。来年のカレンダーは、今年一年間の活動の一部を写真でのごせてあります。NPO地球の緑を守る会の紹介用に多くの方に配布していただければと思います。また、PR用での配布は、一部100円をお願いいたします。包装と送料は実費をお願いいたします。

その他、多くの部数を必要とされる方は、別途事務局にご連絡ください。カレンダー・サイズはB3(515×364)